

防犯フィルムとは・・・？

防犯フィルムとは、どろぼう等の家宅侵入者がガラスを割って侵入までの時間が概ね5分以上かかる窓用フィルムを言います。

警察庁をはじめとした官民合同会議の防犯性能の高い建物部品目録 (<http://www.nccc.jp/nessa/nintei.htm>) の試験内容も概ね同様で、窓用フィルムを貼りクレセントの他に補助錠を取り付けた状態で一定時間を計測して合否を決めています。

フィルムの最低総厚が一応0.35mm (350 μ m) 以上となっていますが、毎年その内容は被害状況などを考慮に入れて変更される可能性があります。

防犯の基本概念は、侵入までに5分以上で時間がかかればかかるほど良いということになっていますから、フィルムと補助錠の組み合わせで万全の対策を試みるのが上策です。

しかし、一般住民の間には、「防犯フィルムは良いが高くて手が届かない・・・」という人もいます。

そんな方には、防犯フィルムの性能を少し下げても（少し薄いフィルム）補助錠を2個以上にするなどの対処で安価且つ防犯性能を高められる可能性もあります。

フィルムの総厚	呼 称	必要な補助錠
① 総厚350 μ m以上で目録に記載されているフィルム (ぶ厚く多重フィルムが良い)	防犯フィルム	1個以上
② 総厚200 μ m程度のフィルム (但し、この基準は官民合同会議の基準ではありません)	準防犯フィルム	2個以上



大事な情報 1

又、意外にチェックされていないのが、外からサッシを外せないようにする為にサッシ上部に付いている「止めネジ」です。

引き違いの窓サッシは通常外側からレールに詰め込みますが、レールに填めた後に、内蔵された「外れ防止金具」のネジにドライバーを差し込んで、上部レールぎりぎりに持ち上げたところでネジをしっかり締めるようになっています。

これを忘れると、せっかくガラスを防犯化してもサッシごと外から外されてしまいます。？

大事な情報 2

もう一つ重要な事は、窓ガラスは、光を取り入れる事の他に、大地震の時など家が傾いてドアやサッシが開かなくなった時の脱出口である事です。

防犯性能を高めるだけでなく非常時に安全に逃げる事ができるようにしておかなければなりません。

その意味で、掃き出し窓のように大きな窓には、防犯フィルムを貼っておくことをお勧めします。フィルムをガラスの内側に貼ることによって、外部からの侵入には強く、いざという時内側からガラスを割って脱出することも可能となります。